



教えて!

市立病院

vol.52

市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

今月のドクター
病院事業管理者兼
病院長 渡邊孝男医師



テーマ 物忘れ？認知症？早期の受診が大切です

市立病院では、4月から認知症の診療を行っています。年齢を重ねるに従って、“物忘れ”が気になってきたという人もいることと思います。通常の加齢による物忘れであればそれほど心配することはありませんが、脳の病気によって認知機能が低下し、物忘れなどが起こる「認知症」やビタミンやホルモンの不足といった「体の病気」で認知機能が低下する場合があります。また、うつ病などの「心の病」でも認知症と似た症状を呈することがありますので鑑別のため検査を行い隠れた原因疾患の有無を精査する必要があります。原因疾患によっては、治療で治せる可能性がありますので（例えば、正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫あるいは甲状腺機能低下症、ビタミン欠乏症など）、早期診断、早期治療が大切です。

いわゆる認知症（変性性認知症）の場合でも、進行を遅らせる、あるいは精神症状を和らげる治療薬や介護法などが開発されていますので、それらを試してみ

ることができます。そのためにも、物忘れが心配な場合には早めの受診をお勧めします。

診療は、神経学的診察と認知機能検査や神経画像検査（CT、MRI、脳血流検査など）、血液・生化学検査などを行って原因を見極めます。その後、原因疾患に応じた診療科で治療を行うことになります。また、運転免許更新時に認知機能低下を疑われ、精密検査の実施や診断書の提出を求められることがありますが、当院ではその場合の認知機能精密検査も行っています。

<認知症の主な原因疾患>

- ・変性性認知症：アルツハイマー型認知症
- ・血管性認知症：脳梗塞、慢性虚血性変化
- ・外傷性認知症：脳挫傷、慢性硬膜下血腫
- ・腫瘍性：脳腫瘍
- ・物質・医薬品誘発性：アルコール関連障害
- ・内分泌・代謝性：甲状腺機能低下症 など